

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	メディアリテラシー		
英文授業科目名	Media Literacy		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義・演習	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	児玉 幸子		
居室	西6-411		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kodama@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>メディアリテラシーは、情報が流通する媒体を使いこなす能力を高めることを目的とする。メディアの特性や利用方法を理解し、メディアを流れる情報を鵜呑みにするのではなく、情報を発信している側の視点を持つことによって、より適切な視点で他者の考えを理解し、同時に、自分の考えを他者に伝達できる能力を身に付ける。</p> <p>従来のマスメディアに対するメディアリテラシーと同時に、双方向のコミュニケーションがあるテレビ、インターネット、携帯電話のメディアリテラシーについて講義を行う。PCルームを活用した実習を行って、メディアを使って情報を適切な表現で発信するための必要不可欠な知識と技能を身に付ける。これらの実習は、グループワークとしての企画、取材および撮影、編集などポストプロダクション、インターネットでの映像、テキスト、ナレーションを含む情報の公開まで一連の流れを体験する。</p>

【前もって履修しておくべき科目】

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
授業中に指示します。

【授業内容とその進め方】

電気通信大学 平成20年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

レポートと課題の提出は必須で、未提出の場合不合格となります。
講義と実習の出席率およびレポートと課題を、以下の割合で評価する。
出席率：レポート：課題 = 4：3：3 (計10ポイント)
6ポイント以上で合格。

【オフィスアワー：授業相談】

水曜5限

【学生へのメッセージ】

従来の「メディアリテラシー」では、マスメディアによる報道を鵜呑みにするのではなく、どのように読み取るかに主眼をおいていました。しかし、ひとりひとりが情報を自分の視点で発信する手段を持ち、双方向のコミュニケーションに踏み込むことによって、報道に対する見方はさらに変わってきます。

【その他】